

平成25年度 三条市国語部活動報告

部長 尾崎 章

1 研究主題

学習指導要領の着実な実践と適切な学習評価

2 研究の概要

実技と授業研究を通して実践力を高める。

3 研究の実際

- (1) 第1回研修 アナウンスレッスン 6月21日(金)

講師：小柳 実 様 新潟アナウンススクール主宰

口の構え、母音の口の開き方など、話すことの基本となる発声や発音について、元BSN新潟放送局アナウンサー小柳 実様より、丁寧なご指導をいただいた。芥川龍之介の作品「蜘蛛の糸」の音読を通して、大勢の会員にも関わらず、一人一人の会員に対して、その人の発音や抑揚の癖などについて丁寧なアドバイスをいただいた。また作品の解釈によって、間の取り方や抑揚の付け方が変わることやその効果についてのご指導いただいた。

- (2) 第2回研修 中越国語教育研究会参加 10月11日(金)

公開授業：3学年 国語 単元名「伝えよう！三条自慢の和釘」

六田 将司先生(三条小学校)

講演会：桑原 隆 様(早稲田大学教育総合科学学術院特任教授)

演 題：「単元開発の思想と試み—河童・かっぱ・カップ・Kappa」

＜参会者の感想から＞

- 提案性のある授業を参観することができた。協議会では活発な討論がなされ、日々の実践に生かすことのできるアイデアをたくさん得ることができ、学ぶことの多い会となった。
- 協議会では、授業のやり方以外にもいろいろな意見、アイデアを聞くことができたのでとてもよかった。
- 協議会が大変勉強になった。様々な代案やご指導は、明日から指導に活かせるものばかりであった。自分の主張をもって指導にあたることの大切さや、新しいことを学んで生かすことの大切さも感じる事ができた。

4 成果

国語部では、年2回の研修のうち、1回は実技または講演、もう1回は授業研究という研修スタイルを取っている。1回目の実技研修では、一人一人が丁寧なアナウンスレッスンを受けることができ、日々の授業での音読指導に役立てることができた。2回目は、授業研究を通して、言語活動について考えることができ、また実践についてのご指導もいただき大変有意義な研修となった。